



笑顔で 100 歳



敬老の日にちなみ、百歳を迎えた石綿シゲさん（春日町）に総理大臣から贈られた祝状が、泉亭町長より伝達されました。

町内で今年百歳を迎えるのは石綿さんひとりで、祝状と記念品を「ありがとう。」としっかり受け取りました。家族は「陶芸や焼き物など趣味も豊富、電話などで人と話しをするのが大好きです。」と話していました。（9月21日）

ダムの絵画を寄贈



町内の金沢で創作活動続ける画家の高橋哲夫さんから町へ油彩の寄贈がありました。

この作品は試験湛水中の水をたたえた当別ダムをモチーフに描かれた20号の大作で、多くの人に当別ダムを知ってもらいたいと町へ寄贈されることになりました。

高橋さんは普段から当別の風景を多く描いていますが、新しく加わった町の名所を早速訪問し、短い時間で描き上げたといいます。ふれあい倉庫で開かれていた自身の個展で飾る場所を考えていた時に、町への寄贈を思いついたそうです。（10月4日）

「当別ふくろう湖」と命名



当別ダム完成により、堰き止められた当別川に新たに湖が出現しますが、当別ダム完成式で「当別ふくろう湖」と命名されました。

名称の選定は、審査会が公募を行い、68件の応募の中から当別町出身の梶川太三郎さん（札幌市豊平区在住、札幌当別会副会長）が考案した「当別ふくろう湖」が選ばれました。

梶川さんは「ふるさとに想いをはせた時、当別の鳥（ふくろう）が頭に浮かびました。」と話していました。今後、地図などでは「当別ふくろう湖」と表記されます。（10月7日）

広 告

広 告

広 告

地域活動への貢献に



当別ダムの建設に関わった建設業者が行ってきた地域奉仕活動に対し、泉亭町長より感謝状が贈られました。

贈られた鹿島建設株、株竹中土木、岩倉建設株の3社は、平成21年度から町内のイベントへの積極的な参加の他、植樹、清掃、交通安全の啓蒙、除雪ボランティアなどを実施し、地域の住民の頼りとなってきました。鹿島建設の木下 勲^{いさお}支店長は「地元の理解と熱意があれば公共工事は進みます。そういう意味では当別町民と一緒に活動でき、とても良かった。」と話しました。(10月9日)

荒戸さんに社会貢献賞



北海道の社会貢献賞に荒戸恵子さん(樺戸町)が選ばれました。

荒戸さんは食生活改善推進員として25年に及ぶ活動で、健康的な食生活の普及として親子料理教室や町内産の農産物を使ったレシピの考案などを行ってきました。

全道では4,579人もの食生活改善推進員が活躍していますが、荒戸さんは「健康生活の根源は食生活にあります。減塩を中心にこれからも町内98名のメンバーと一緒に新たなレシピの提案や栄養、健康などへの正しい知識の普及に努めて行きたいですね。」と話しました。(10月15日)

手づくりの音楽祭



町内の音楽愛好家が集まり、手づくりの音楽祭として続けている「ふくろう音楽祭」が今年で9回目の開催となりました。

インフルエンザの流行など一時中断した時期を乗り越えて、夏におかあさんコーラスの全国大会に出場したレディースハーモニーをはじめ、中学校の部活から社会人の吹奏楽団まで6団体が16曲を披露しました。最後は、合唱団が吹奏楽の伴奏で、大地の恵みを讃える「大地賛頌(だいちさんしょう)」を熱唱し、会場から盛んな拍手を受けました。

(10月13日)

広 告

広 告

広 告

200 丁のぴかぴか包丁



10月20日はシルバーの日。技術を持つお年寄りの技を町民の生活に役立ててもらおうと、包丁研ぎの無料サービスがふれあい倉庫であり、200丁もの包丁が新品によみがえりました。

81歳の方をはじめ、人材センターの会員5人が自慢の包丁研ぎを披露しました。かつて大工の方も多く、刃物を見る目にも真剣さが違います。今年初めて訪れたという美里に住む佐藤裕美さんは「家では出来ないことなので、大変助かります。」と娘さんと興味深く作業を見守っていました。

(10月20日)

道民の森バスツアー



「道民の森」をもっと知ってもらおうと、当別町観光協会が主催するバスツアーが開催され31名が参加しました。

6回目の今回は、完成した当別ダムの見学と、この日行われた「北海道森づくりフェスタ2012」に参加し、えぞまつ、しなの木他約2千本を、全道から集まった850人の参加者と植樹、豊かな森に育つことを祈りました。この後、昼食は神居尻地区でのジンギスカンと、中小屋温泉で冷えた体を温め、ふれあい倉庫で特産品があたる抽選会など盛りだくさんの日程を終えました。

(10月21日)

交通安全情報

冬の交通安全運動がスタート!

11/15～11/24

降雪や気温低下による路面凍結が発生する季節となります。

運転感覚を夏型から冬型に切り替え、スピードを控えましょう。

(平成24年9月末の交通事故累計)

	H 24 年	H 23 年	増減数
発生件数	67	40	27
死者数	3	0	3
傷者数	86	53	33

■ 人の動き 10月1日現在 ■ () は前月との比較

人口	18,089 人	(44 人減)
世帯	7,697 世帯	(7 世帯減)
男	8,787 人	(17 人減)
女	9,302 人	(27 人減)

広 告

広 告

広 告

広 告